

放射線室

放射線課では現在、検査部門では診療放射線技師4名、画像診断部門では週3回の放射線診断専門医による画像診断を行っております。診療科では、脳神経外科、整形外科、内科、ペインクリニック、精神科(診療内科)をはじめ、脳ドック、人間ドック、企業健診等での画像検査を主な業務として行っております。高性能の装置を導入し、地域のみなさまに良質な医療を提供するため、被ばくの少ない、負担の少ない、患者さんにやさしい撮影を目指して、日々検査業務に取り組んでおります。

【 装置のご紹介 】

東芝製MRI装置

Vantage Taitan 1.5T



MRIは放射線を用いずに体の内部をいろんな角度から調べることができる検査です。当院の装置は奥行が短く、内径が71cmと広い空間で、圧迫感の軽減された患者さんにやさしい構造の装置です。

東芝製X線CT装置

(16列) Alexion



ドーナツ型の中央にある大きな穴に体を入れて、体の内部の状態を輪切りにした画像や立体画像(3D)を作成して、詳しく調べることができる検査装置です。

骨密度測定装置

HOLOGIC製 QDR4500A



骨密度測定は低線量の2種類のX線を用いて、短時間で体の骨の状態をチェックし、骨粗しょう症などの病気を調べる検査装置です。

(主な測定部位 腰椎、大腿骨頭部)

島津製 X線TV装置

FLEXAVISION



X線TV装置は嚥下造影検査、関節造影、神経ブロック、消化管検査など、体の内部を透視して調べる検査装置です。

その他

一般撮影装置 2台

外科用X線TV装置 1台

ポータブルX線撮影装置 2台